

お墓参り

仏教では、通常、春と秋のお彼岸、お盆、故人の祥月命日、年忌法要などの日にお墓参りを行います。ただあくまでしきたり上のことで、本来決まった日でなくともいつ行ってもよいのです。

結婚、誕生、入学、入社、病気やケガの治療など、人生の喜びごとや節目に、お参りもします。それは、お墓参りが単に供養だけでなく、彼岸から見守ってくれている故人に、恙無く幸せに過ごしていることを報告し、感謝する意味もあります。

お墓参りの順序とマナー

- ① お掃除をします。 落ち葉やゴミをひろい、ブラシやぞうきんを使って水洗いをします。花立（花筒）なども洗い清めます。
- ② お供えをします。 お水、お茶、お花を供えます。お菓子や果物などのお供物は、半紙を敷いた上にのせます。弊社で施工した場合は、ステンレスの湯呑を設置することがほとんどです。
- ③ 拝礼をします。 お線香を供え、合掌、拝礼をします。
- ④ あとかたづけをします。 線香は燃やし切り、火の始末をします。お供物はそのままにしておく、カラスなどが食べ散らかしたり、腐敗して悪臭を放つこととなりますので、必ず持ち帰りましょう。

お参り . . .

お線香は、野外では風の影響などで火が付きにくいので工夫がいらいます。野外用の着火器を用意して行くとべんりです。

掃除をして、汚れが落ちないといって、金属ブラシで擦ると傷がつきますのでやらないでください。どうしてもという場合は、弊社に連絡ください。アルコール類をかけたり、強アルカリ洗剤などは科学変化を起こす可能性がありますので、使用しないでください。 基本、水洗いです。

スチール缶などは置いておくと、錆が墓石に浸み込んで取れなくなることがありますので注意してください。